
敗北の女戦士は
勝国の絶倫王子に
甘とろ交尾で躾けられる
DOJIN
R18
成人向け


私は名もなき女騎士
現在、苛烈さを増す戦場の最前線で戦っているが軍事力最強と謳われる相手国、ヴァルハラ王国を前に劣勢を強いられている
幼い頃から国に尽くすために過酷な訓練を受け
どんなにボロボロになっても死ぬまで国の為に戦う騎士
もちろん女性としての尊厳など微塵もなく…


お前…女か？
なぜそこまでボロボロになってまで戦う？
うるさい！
ただお国のためにそう教わってきたから…っ
その結果血まみれになってまで戦わされて
自分自身に疑問はないのか？
…っ
黙れ…っ！
あれはヴァルハラ王国軍最高司令官にして第二王子の男…っ
はぁ
はぁ
はぁ
あいつを殺せばこの戦いは終わる…っ


くら…っ
あ…っ
体がもう…
動かな…
気絶したか…
そうして
命を賭けて戦った我が国は
ヴァルハラ王国を前に大敗し
滅びの道を辿った
そうして居場所を
失った私は今


その相手国の第二王子、
アーサーの護衛として
雇われている
ヴァルハラ王国
軍事最高司令部兼
第二王子
アーサー
ヴァルハラ王国
新騎士団長兼
アーサーの護衛
フレイヤ
何故
こんな
ことに
!!!
それにしても
フレイヤ…
!
ビクッ
最近はいつにも増して
働きすぎでは？
そんな根を詰めて働いては
身がもたないよ
キラ
キラ

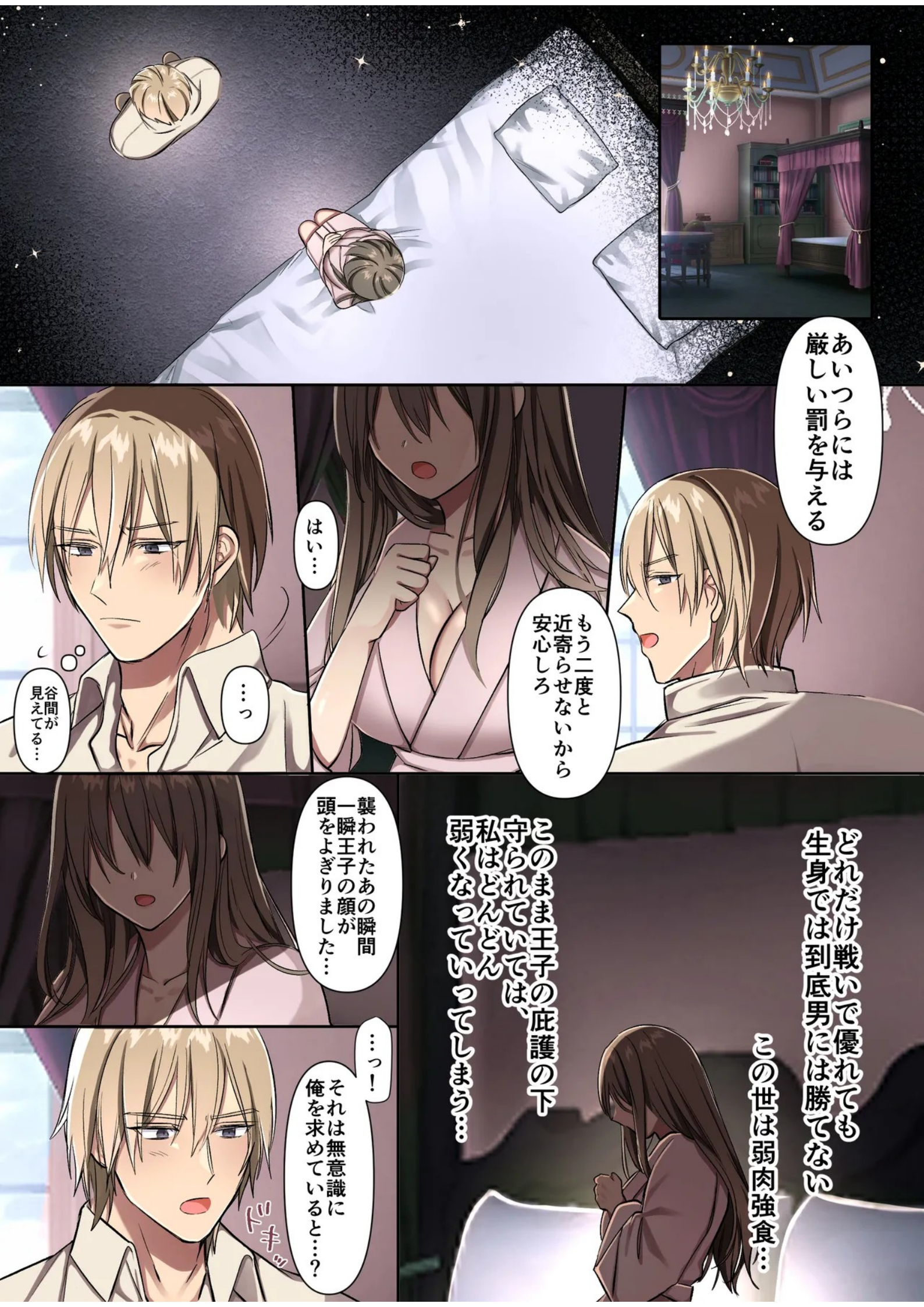

使命なので全然大丈夫です！
真面目だなぁ
ギュッ
なんだこの優男…っ！
前の国と違いすぎて居心地が悪い…
フレイヤはこの人がくれた名前…
第二王子
アーサー
最強の王国を生み出した優秀で逞しい国王一家の血を受け継ぎながらも、優雅なそのさまは異端の王子と言われている
戦場で見かけた時のあの雄々しさは何処へやら実際はなんとも甘ったるい優男である


君はもう十分強いんだからたまに休養も必要だよ
必要ありません！
本当に心配してるのに…
ただ司令官として命令するだけではなく私を1人の女性として接してくる
それもうんと優しく
正直調子が狂う…
チッ
ずっと俺らが第一線で戦ってきたのになんで突然あんな小娘が騎士団長なんだよ
いけすかねぇな
生意気な態度でも体だけは一級品なんだよな
ギリ…
俺達が女としての自覚をわからせてやらねぇとな…

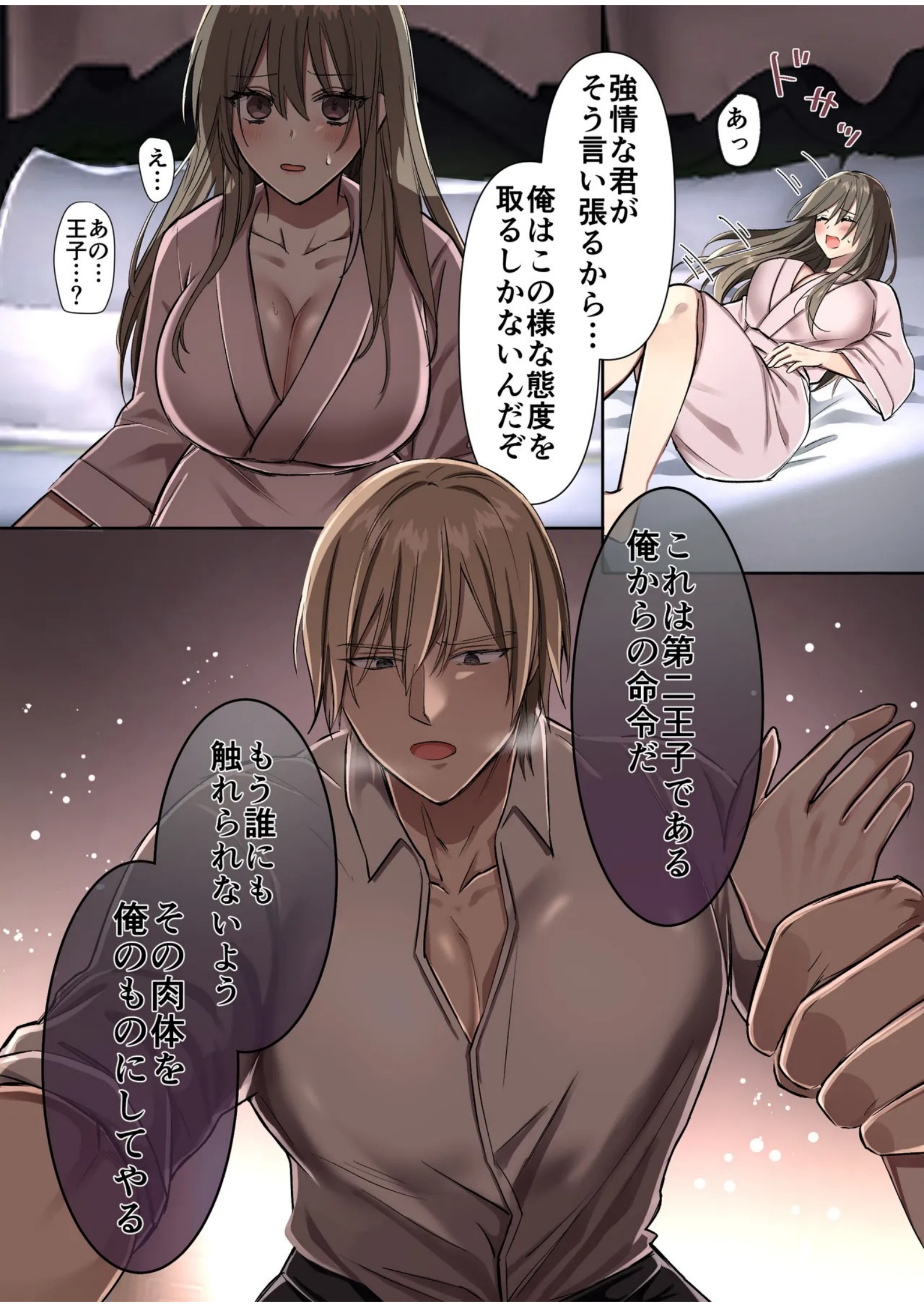

この国に来てから怒涛の日々で疲れたな…
ガッ
あっ団長～
!!誰だ!?
俺らもシャワー浴びようと思ってたんスよ
一緒に流し合いっこしましょうや笑
お前ら何を言っている…っ
今は使用中だ出ていけ!!!
おうおう怖いねぇ
そんなこと言わずに一緒に入りましょうよ
てか、裸だと色っぽいっすね、団長♪
な…っ手を離せ…っ
やば、エッロ
威勢がよくたって裸じゃただの女同然っスよ


離せ…っ
あらら～
恥ずかしいところ全部
見えちゃった
こっちはお前に
ポジション取られて
ストレス溜まってんだよ
発散させろや！
や…っ
やめ…っ
前の国では名前さえ
つけてもらえなかった
んだっけ？
顔と肉体しか取り柄のない
メスなんだからさぁ、
黙って股開いてりゃ
いいんだよ
いっぱい可愛がって
あげるからね～笑
フレイヤ…
こんな時に
なんであの人を
思い出すの…っ
やだ…っ
助け…っ

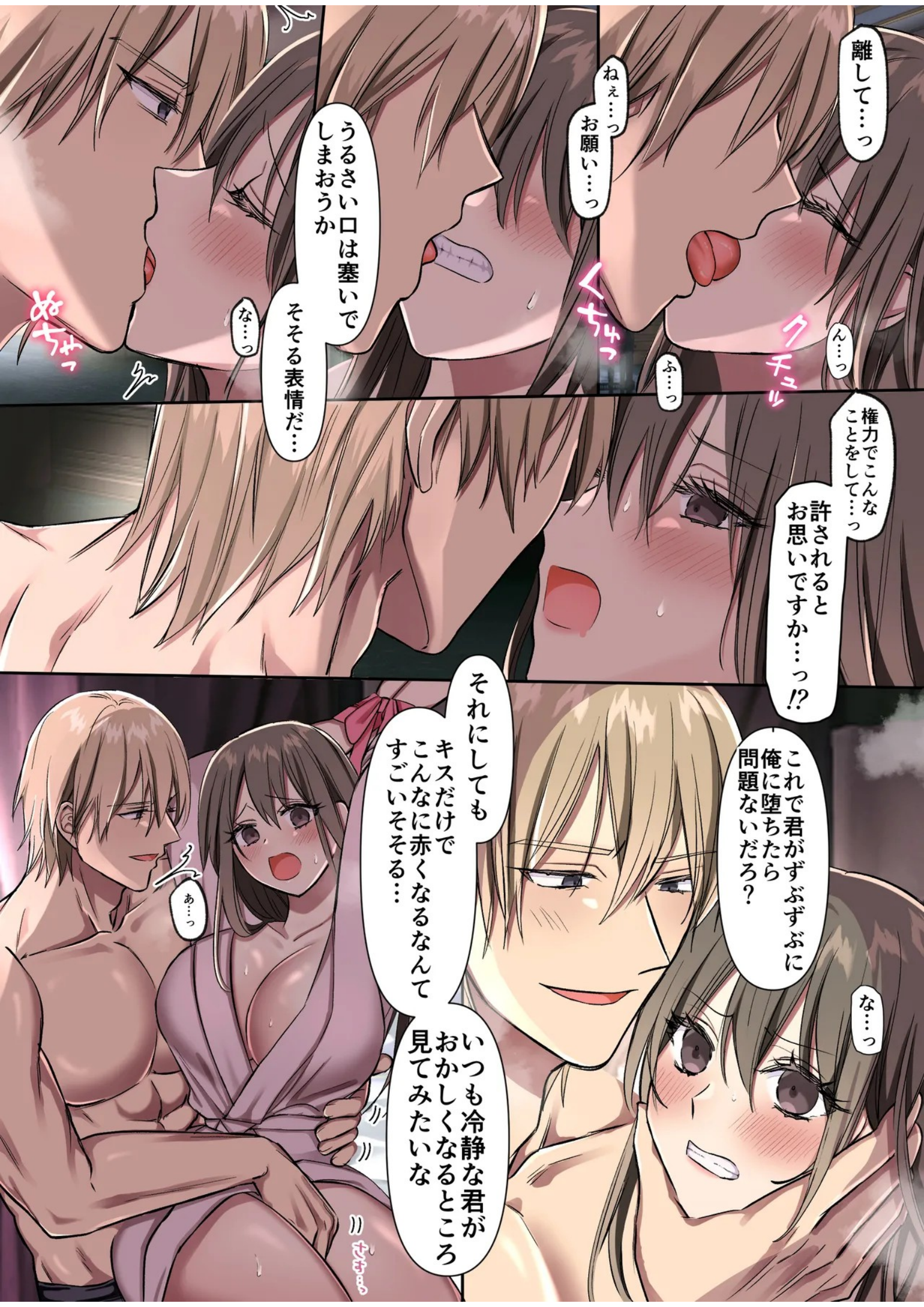

何をしている…っ!!
ぐあ…っ!!
チッ
なんで王子がこんなところに…っ!
ス、スイマセンでした…っ
大丈夫か!?
…ッ
あ…
じわ…


あいつらには厳しい罰を与える
もう二度と近寄らせないから安心しろ
はい…
…っ
谷間が見えてる…
どれだけ戦いで優れても生身では到底男には勝てない
この世は弱肉強食…
このまま王子の庇護の下守られていては、私はどんどん弱くなっていってしまう…
襲われたあの瞬間一瞬王子の顔が頭をよぎりました…
…っ！
それは無意識に俺を求めていると…？
ドキッ


助けていただいたことは感謝いたします
ですが、このままでは私は弱いまま
情けは不要です彼らをまた私の部下に戻してください・・・っ
な…っ!!
何を馬鹿なことを言うか…っ!!
また襲われたいのか!?
襲われたとしたら、それは私がまだまだ弱い証です!
それではまた襲われて取り返しがつかないことになっても仕方がないと…?
ギクッ…
…っ
…そうですね
・・・
こんな格好でそんなことを言って無意識に男を誘っていることにさえ未だに気づかないのか…
え…?


ドサッ
あっ
強情な君がそう言い張るから…
俺はこの様な態度を取るしかないんだぞ
え…
あの…王子…？
これは第二王子である俺からの命令だ
もう誰にも触れられないようその肉体を俺のものにしてやる


身動きが取れない…っ！
こんな…っ
フレイヤ…
離してください…っ！
頭がぼーっとする…っ
チュル♡
んぐ…っ
ん…っ
さっきからずっと無理矢理抱きしめられて…っ
こんな…っ
こんな王子知らない…っ!!
や…
だめ…っ


離して…っ
ねぇ…っお願い…っ
うるさい口は塞いでしまおうか
そそる表情だ…
な…っ
ぬちゅっ
くちゅっ
ん…っ
ふ…っ
クチュル
権力でこんなことをして…っ
許されるとお思いですか…っ!?
これで君がずぶずぶに俺に堕ちたら問題ないだろ?
それにしてもキスだけでこんなに赤くなるなんてすごいそそる…
いつも冷静な君がおかしくなるところ見てみたいな
な…っ
あ…っ
ぢゅっ


綺麗だ…
大きくて
ハリがあって
とても戦ばかりしていた
女の体だとは思えないな
見せてみろ
いや…っ
やぁあぁ…っ
ぷるんっ
やだ…っ
そんなこと
言わないで…っ
…っ
止めてください!!
私は女じゃない!
一人の戦士です!!


こんな淫らな肉体を晒しながら騎士道を語られてもな
な…っ
君が女か戦士なのかそれはこれからの反応を見て決めることだ
いや…っ
あ…っ
君が女じゃないなら、どれだけ乳首を弄っても感じないんだろうな？
あんっ
あっ
ちゅっ
クチュッ
もみっ
もみ
コリコリコリコリ
ぎゅっ
ぐにっ
ぐにっ


ほら、
かわいい声が出た
く…っ
からかうのは
やめてください…っ！
そんなこと言われると
虐めたくなる
ここ、
こんなに赤く充血して
俺のことを誘ってる…
ちゅっ♡
あっ
可愛い声…
もっと聞かせて
ちゅっ
ちゅっ♡


ちゅっ♡
あっ
フレイヤは先っぽを突くのが好きかな？
いや…っ
くちゅっ
悦ぶところいっぱい見つけてあげる
ちゅっ
それとも周りをゆっくり舐めて焦らす？
だめ…っ
ちゅっ♡
そこ…っ
クチュッ♡
クチュッ
一番気持ちいいところを好きなだけ弄ってあげる
そこだめ…っ
ぬちゅっ♡
こうやっていっぱい撫でて触って
くちゅっ♡
ぬちゅっ
あっ
やっ
あぁあ…っ
レロッ
熱を帯びた舌で舐めまわされて…っ
全然離そうとしてくれない…っ
レロレロッ
レロォ♡


こんな…っ
仕上がったな
イロオ…♡
こんなの酷すぎる…っ
あ…
酷い…
こんなしつこく舐めまわされて…っ
懇願しても抱き抱えられて、もっと激しく愛撫してくる…っ
そう簡単に手放すと思ったか？
自分の肉体がどれだけエロいかよく知るといい
もう…だめ…っ
勘弁してください…
はぁ
何を言う
こんな乱れて
まだまだこれからだろ？
はぁ
はぁ
あ…っ


こっちにも触れたくて堪らなかった
いやぁぁあっ
だめ…っそこ…っ
な、何を…
はぁ
かっ
本当にわからないのか…？
見ろ
とろぉ～…♡
こんな充血して触って欲しそうにヒクつかせて
濡れまくっているじゃないかいけない子だ


…っ
ただの生理現象です…っ
クチュッ
クチュッ♡
違うね
本当に気持ちいいと思っているから濡れてるんだよ
あっ
やっ
こんこんこん
や…っ
そこ…っ
熱を帯びた指で何度も何度も…っ
器用に指を振動させてくる…っ
あんっ
ここも物欲しそうにヒクヒクしてる
もっと触って欲しいんだね
や…っ
ちが…っ
くちゅっ♡
くちゅっ
こんなよがっちゃって
可愛い


ちゃんと全部
舐めてあげるからね
ほら
気持ちいいとこ
全部一緒に触ったら
もっと気持ちいいでしょ？
見て…
指を奥に吸い込もうと
こんな吸い付いてくる
聞こえる？
グチュグチュ
グチュグチュ
すっごい
いやらしい音
立ててる…
ぁ
だめっ
ぁぁっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
ぁっ
ぁっ
ぁっ


中の具合はどうかな？
すっご
よく鍛えてるからぎゅうぎゅう締め付けてくる…
すっごい気持ち良さそうな顔してる…
指で刺激するの好き？
指を挿れただけでこんな状態になっちゃうなんて…
チンコ入れたらどんだけ気持ちいいんだろ
こんな良いマンコ挿れたらどうなっちゃうのか、早く知りたいな
グチュッ♡
グチュッ♡
やぁあ…っ
くちゅっ
くちゅっ♡
くにくにくにっ
あっ
クチュッ
クチュッ
クチュッ♡
あっ
だめっ


縛っていたのが解けた…っ
しゅるっ
今のうちに逃げなきゃ…っ
こんな破廉恥なことされ続けたらどうなるか…っ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ガ
ガ
ガ


いいね
この姿勢
このポーズだと
より奥まで入る
ぢゅぽっ
あっ
これからもっと太いものが
入って、キッツキツに
中圧迫するから
ぢゅぐぢゅぐっ
ぢゅぐっ
ぁっ
ぁぁっ
今のうちに
たっぷりほぐして
おかないとね
俺夜も
激しいからさ
止められても
何回もセックス
しちゃうと思う
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
きゅん
きゅん
あっ
あん
すぐへばらないよう
ちゃんと俺専用の形に
しておかないとね

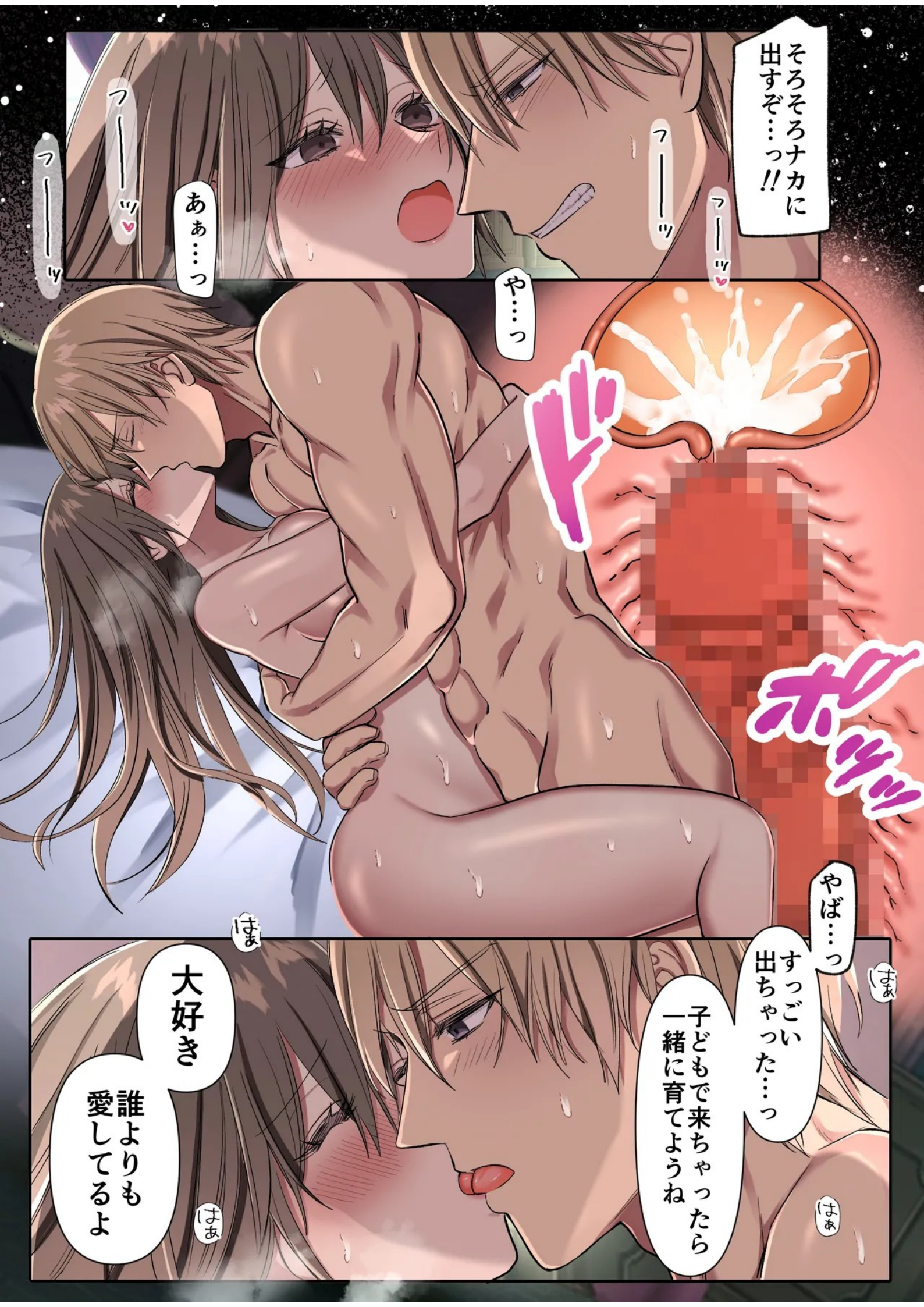

初めて見た時から
戦場に似つかわしくない
可愛い子だなと思っていたよ
接してく内に
強い子だと知って
いよいよ自分のものに
したくなくなった
俺、この国の軍事
任される程度には
体が強いからさ
当然性欲も
人一倍強いわけで…
こうなったら
もう止まんないよ
もうだめ…
こんな…
はーーっ
はーーっ
はーーっ
フーーッ
フーーッ
フーーッ
どくんっ♡
どくんっ♡


これで俺のもの…
ね…っ
ズッ
あんっ
ズッ
きっつ
すごい
締め付けてくる…っ
いっぱい弄ったから
ヌルヌルですっごい
気持ちいい…
ずぷっ
あっ
だめっ
そこっ
ほら
根本まで
ちゃんと入った…っ
ずぷっ
だめっ
離さない…っ
どんなに逃げようとしても
もう離さないから
ずぷっ
んっ


奥までギッチギチに詰まってるのわかる？
ミチッ
ミチッ
こんな…っ
体が壊れちゃう…っ
はーっ
大丈夫
顔見せて
本当可愛い
気持ちいいところ何度も突いて
腹の中はちきれるくらいいっぱい注いであげるからね…っ
やっ
あっ
あんっ
ズリュッ
ズリュッ
はーっ
はーっ
もっと動くよ
や…っ
あっ

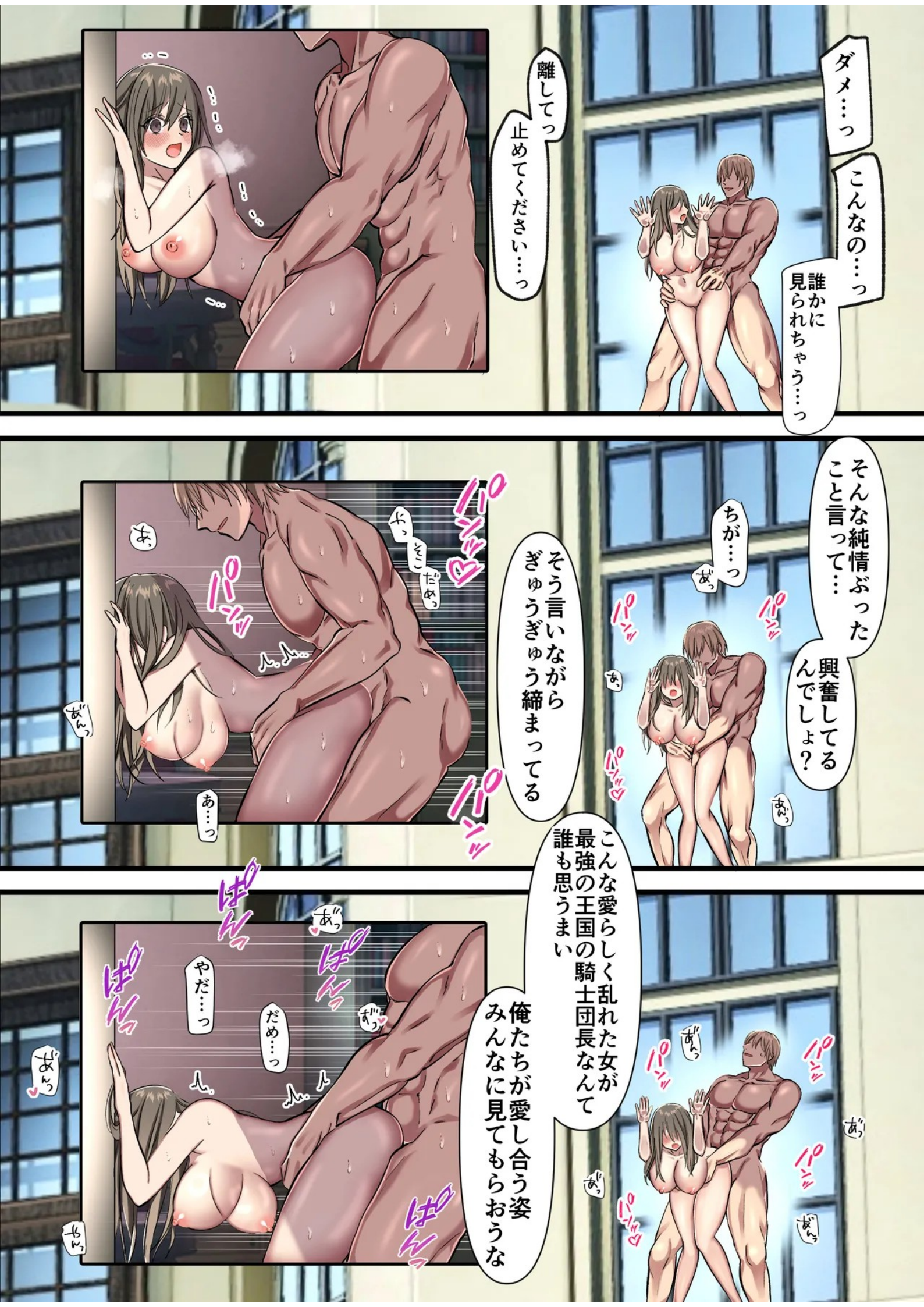

激し…っ
止めて…っ
あっ
ずぽっ
ずぽっ
全然これからだよ
突かれる度乱れるとこ、すごいエロい
気持ち良すぎて腰止まんない
あんっ
ズンッ
膣もぎゅうぎゅう締まってる
嬉しそうにチンコ締め付けて…
気持ちいいんだね
待っててね
これから獣みたいに何度も交尾して
いっぱい精子注いであげるから
ばちゅっ
ばんっ
ばんっ
ばんっ
ばんっ
ばちゅっ
ばちゅっ
あっ
あんっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ
んっ


しがみつかなきゃ耐えられない…っ
…っ
キュゥ
嬉しい
そんな俺のこと好きなの？
ちが…っ
可愛い…っ
俺だけのフレイヤ
大好き
本当に大好き
ずっと俺のものだから…っ
もう絶対離さない…っ!!
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
あんっ
んぐ…っ

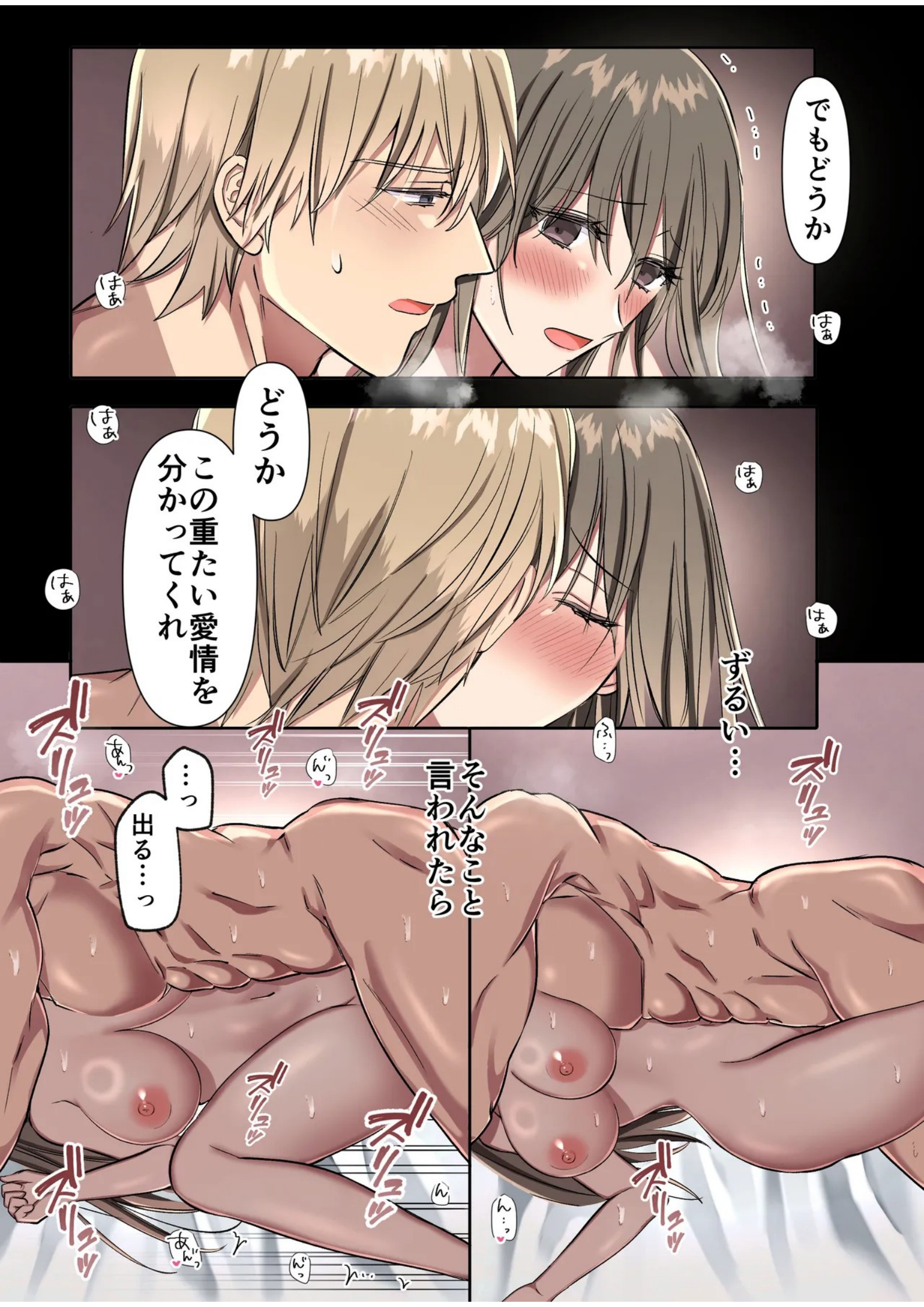

そろそろナカに出すぞ…っ!!
フーーッ
フーーッ
フーーッ
や…っ
あぁ…っ
ドプッ
ボリッ
やば…っ
すっごい出ちゃった…っ
子どもで来ちゃったら一緒に育てようね
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
大好き
誰よりも愛してるよ


だめ…
こんな快感…
はーーっ
はーーっ
はーーっ
このままでは戦士としての尊厳が…っ
ドンッ
や…っ
やめてください…っ
はーー
はーー
はーー
はーー
あなたの子なんて産まないし、あなたのものにはなりません…っ！
こんなことをして…っ
私をちゃんと、1人の戦士として扱ってください…っ
……
これでもまだ俺の愛情をわかっていないのか


いいだろう
え…っ
いや…っ
ちょっと待っ…
や…っ
バァ
こんないやらしい姿の女が本当に戦士なのか
みんなに見て判断してもらおうか
だめ…っ外に人が…っ


ダメ…っ
こんなの…っ
誰かに見られちゃう…っ
離してっ
止めてください…っ
そんな純情ぶったこと言って…
興奮してるんでしょ？
ちが…っ
そう言いながらぎゅうぎゅう締まってる
こんな愛らしく乱れた女が最強の王国の騎士団長なんて誰も思うまい
俺たちが愛し合う姿みんなに見てもらおうな
やだ…っ
だめ…っ


この姿勢だと繋がってるとこも見られちゃうかもね
もし見られてたらと思うと嫉妬でもっと激しく犯したくなる
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あんっ
あんっ
んっ
んっ
やっ
やっ
ずるっ
だめ…
こんなの…
こんなことしてしまったら
私はもう
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ねぇフレイヤ…
あなたの騎士ではいられなくなってしまう…
襲うような形でごめんね


でもどうか
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
どうか
この重たい愛情を
分かってくれ
ずるい…
そんなこと
言われたら
ふっ
ズリュッ
ズリュッ
ズリュッ
んっ
あんっ
…っ
出る…っ
ズリュッ
ズリュッ
ズリュッ
ん
あんっ
んっ
ズリュッ
ズリュッ
ん…っ


その後王子は
女としての快楽を
知ってしまった私に
つけ込むかの如く
ずっと見て見ぬふりを
していた
この気持ちを
隠すには
どうすればいいの…？
フレイヤ
ドキ
今日の稽古は
身が入ってないな
あとで俺の部屋に
来るように
ドキ
はい…
ドキ


もじっ
…っ
こんな可愛らしい格好
私には…
すごく
すごく似合ってるよ
もっと普段から
可愛い服
着てくれたらいいのに
本当に可愛い
俺だけのフレイヤ
それは…
そんなの
私じゃない…
あ…っ
だめ…っ
そこ…っ
んっ
あっ
そこ
だめ…っ
ん


前は可愛いって言われるのが嫌だったのに…っ
肉体が本能レベルで求めてしまう…
この人を前にすると
体が勝手に熱くなって…っ
吐息を
声を
聞いただけで濡れるように
や…っ
止めてください…っ
そこ…そんな…っ
そう言いながらぐっしょぐしょに濡れているじゃないかいけない子だ
もみ
もみ
もみ
くにくに
くにくに
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
くちゅっ
ちがっ
あっ
んっ
はぁ
やっ
あんっ


徐々に
ここ舐められるの好きだね
確実に
手マンされるのも
女にされていく
相当淫乱じゃないとここまでぐちょぐちょにならないよね
どんどん愛液が溢れてく
指を挿れただけでこんな状態になっちゃうなんて…
腹の中はちきれるくらいたっぷり注いでやるからな


指もっといっぱい入るかな？
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あんっ
んっ
んっ
あんっ
あったかい…
ドロドロに蕩けきってて何本でも入りそう…
本当にどんどんエロい女になってくね
クチュッ
クチュッ♡
あっ
あんっ
グチュッ♡
グチュッ♡
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ♡
ちゃっ
あっ
あっ
あっ
本当に気持ちいいんだね
無様に乱れて可愛い
あんっ


イっちゃった？
こんなガクガク震えて可愛い
この人はいつも私をトロトロに甘やかしてくる…
お姫様みたいに優しく抱いて
そして
ほんと可愛い
俺だけのフレイヤ
は――っ
ちゅっ
くちゅっ♡
ん…っ


待ってろ
腹の中はちきれるくらいたっぷり注いでやるからな
ん…っ
そうやって自分からいやらしく腰を擦り付けて
早く挿れてほしいのかな
やっ
あっ
ちが…っ
ズポポポッ
お望み通りもっと激しく突いてあげる
やっ
あっ
たぽんっ
あっ
あんっ
あっ
たぽんっ
たぽんっ
わかる？チンコ、ギッチギチに詰まってる
ナカで出したら、すぐ妊娠しちゃいそう
ん…っ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ♡
パンッ♡
腰上げて
もっと膣内で俺を感じて


すご、ドロドロすぎてめちゃくちゃ滑る
待っ
無理
もう我慢できない
何回もシてるから、一番気持ちいいところを的確に突いてくる…っ
この人は、私以上に私の肉体を知ってしまっている…っ
止め…っ
止めらんない
ここだろ？本当はもっとしてほしいくせに笑
じゅぽっ♡
や…っ
もうだめ…っ
あ…っ
あんっ
あっ
あっあっ
ぐっ


こうやって王子は私をどんどん女にして、獣のように犯して…
これも着てすごい可愛い
もうすっかりやらしい雌の顔だね
戦士としてのプライドはどうした？
自分から腰を擦り付けてきて
稽古にセックス
朝から晩までいっぱい励んでるから
ナカもすっかり俺の形になったな


塗り替えられていく
ずっと
求めていたものが
強さから
この人に
変わってく
…っ
黙れ…っ！
幼い頃から国に尽くすために
過酷な訓練を受け
どんなにボロボロになっても
死ぬまで国の為に
戦う騎士
そんな根を詰めて働いては
身がもたないよ
んな…っ
体が壊れちゃう…っ
大丈
そこ…っ
王子が
好き…
ん
ふ――っ
ふ――っ
俺も…っ
ふ――っ
ふ――っ
好き…
うん


君が誇っているものは
奪わないから
君だけを絶対
守るから
はぁ
ぱんっ
あっ
やっ
あんっ
どうか
どうかずっと
俺だけの女でいて…っ

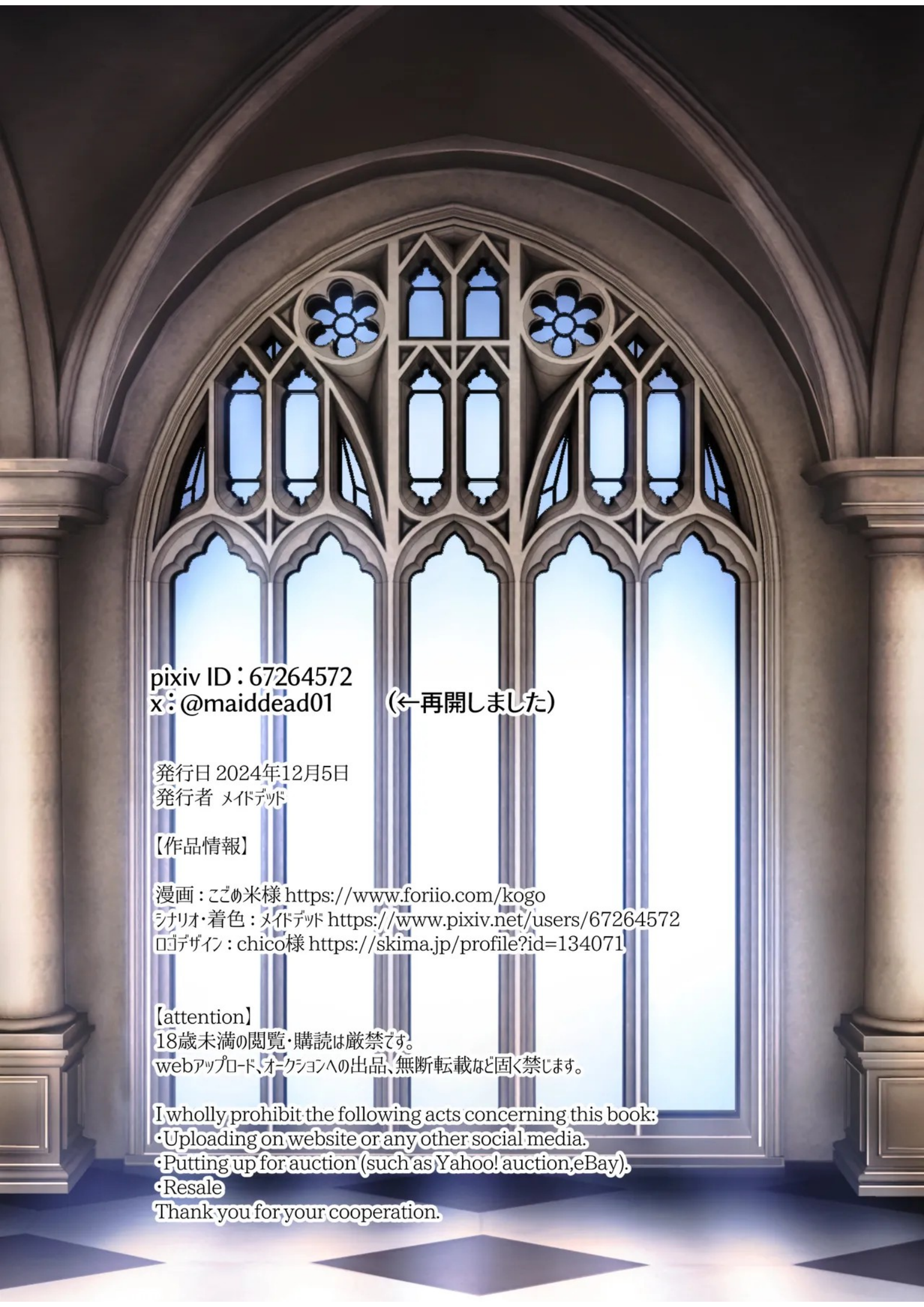

そうやって関係性が
変わった後
どうしてるかと言うと
私は変わらず
騎士団長を
やっている
奴らは国を
永久追放された
ひえ〜っ
前国と違って
大切に大切に
愛されながら
そうそう
フレイヤ
コリッ
はい？
今度のパーティー、
俺の妻として
お披露目してみないか



距離が縮まることで
この人をより守りたい気持ちが
騎士としての強さを
生み出したのも事実

こんな日常も
悪くないのかもしれない…


Character Sheets
このページのみ全てmaiddead作です



pixiv ID：67264572
x：@maiddead01　　(←再開しました)

発行日 2024年12月5日
発行者 ﾒｲﾄﾞﾃﾞｯﾄﾞ

【作品情報】

漫画：こごめ米様 https://www.foriio.com/kogo
ｼﾅﾘｵ・着色：ﾒｲﾄﾞﾃﾞｯﾄﾞ https://www.pixiv.net/users/67264572
ﾛｺﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ：chico様 https://skima.jp/profile?id=134071

【attention】
18歳未満の閲覧・購読は厳禁です。
webｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ、ｵｰｸｼｮﾝへの出品、無断転載など固く禁じます。

I wholly prohibit the following acts concerning this book:
・Uploading on website or any other social media.
・Putting up for auction (such as Yahoo! auction,eBay).
・Resale
Thank you for your cooperation.